

全国1位、7年連続

「新型コロナウイルス 況は続く」と話すのは、福岡ロジテック（福岡県 宇美町）の永山浩一社長。取引先の運送事業者の大半が貨物の減少に苦しんだ。感染の再拡大も懸念され、予断を許さない状況

「先行きが不透明な時代だからこそ『親切が先、商いは後』の基本に立ち返り、取り扱い事業で輸送効率化を支援していきたい」

日本貨物運送協同組合 連合会（吉野雅山会長）

「新人でもベテラン並みに配車を行うことができるようになる」と 永山社長

WebKIT荷物・車両情報成約

による2020年度WebKIT表彰では、荷物情報（求車）成約件数、車両情報（求荷）成約件数の両部門で、7年連続の全国1位を達成した。

取扱事業ではIT（情報技術）導入を推進。情報サービスのグループ企業、福岡ロジテック九州（永山美由紀社長、福岡県宇美町）と共同開発した「求荷求車情報検索システム」を駆使し、車と貨物の需要予測に基づいた営業活動を展開している。

システム駆使 情報提供「先手」で

システムの運用効果について「過去の取引データを分析し、先手を打つ形で荷主やトラック事業者に情報を提供している。顧客・貨物情報の蓄積で求荷求車予測の精度が上がり、また、新人でもベテラン並みに配車を行うことができるようになる」と強調する。

今後も更に需要予測や信用情報の精度を高め、誰もが効率的に配車できる環境を整えることで、運行管理部門の人材確保を後押ししていく。

（高松美希）

